

2012年4月24日

報道関係者各位

株式会社アプストウェブ

株式会社アプストウェブは、2012年4月24日（火）、製造業のボトムアップなIT化を支援するソフトウェア「コンテキサー」を発表しました。コンテキサーは、製造現場や管理の現場で行われているさまざまな半定型業務のIT化のために開発された支援ツールであり、表計算ソフトのように、担当者自らが業務の流れに合わせてシステムを構築することができるソフトウェアです。

これまでのITは、あらかじめ仕様が固まった繰り返し性の高い業務や、通信設備など、業務の多様性からは独立している部分について効果を発揮してきました。しかし、業務と密接に関連した部分のIT化では、要求仕様のあいまいさや、要求そのものが月日の経過とともに変化するなどの理由で、非常に高度な技術とノウハウが必要でした。

コンテキサーは、法政大学西岡靖之教授が提唱する“ITカイゼン”というコンセプトに従い、「業務システムは業務をもっともよく知った担当者が主体的に構築する」ためのツールです。業務担当者は、多少のIT知識と業務カイゼンのモチベーションがあれば、身近なところから、業務で利用する情報の流れを少しずつカイゼンしていくことができます。

コンテキサーを用いた“ITカイゼン”の取り組みは、すでに大手自動車部品製造業、中小精密加工業など、幅広い業種での採用実績をもちます。2011年度に東京都で採択された補助事業では、10名以下の小規模企業において、ITの経験のない担当者であっても、自社にあった生産管理のしくみをつくれることを示しました。

コンテキサーは、こうしたITカイゼンツールとしてのみならず、小規模なソフトウェアベンダーや地域のITコーディネータなどが、これまでIT化の進まなかった小規模製造業のIT化を支援するための開発ツールとしても活用することができます。コンテキサー上で稼働する業務アプリケーションを用意することで、それらを利用して短時間でシステム構築を支援することが可能となります。

コンテキサーの価格は、月額で500円から可能です。サイトで利用する場合の標準的な価格は、CSV版が1万円/月（5ユーザ）、RDBで情報共有する場合は5万円/月（10ユーザ）です。今後は、無償の業務アプリの配布や、中小製造業向けの特別支援プログラムなども、外部の公的機関と共同で提供していく予定です。

アプストウェブとは

法政大学西岡靖之教授が2000年に設立した大学発ベンチャー企業。ソフトウェアにおける標準化を追求し、ものづくりと情報技術を融合させたあたらしいITを創造するための開発、販売およびコンサルティング活動を行っている。異なるソフトウェアを連携させ

る技術、そして“ITカイゼン”といった人とコンピュータを連携させるための技術に強みをもつ技術指向の企業である。生産計画システム、生産スケジューラ、そしてMES（製造実行システム）に関する多くの実装実績をもつ。

ITカイゼンとは

さまざまな情報を扱うときに起こりがちな業務のムリ、ムダ、ムラをなくすために、現場が中心となって情報の流れをよくするための取り組み。従来のトップダウンのITではなく、担当者の身の回りの情報を、その作り手や受け手を明らかにしながら、情報の流れと業務の在り方を見直していく。これによって、結果的に組織全体の情報の流れをよくすることができる。情報の整理整頓と、既存のシステムとの連携を可能にする柔軟なITツールが必要となる。

本件に関する問い合わせ先：

株式会社アプストウェブ

販売企画部 西岡

TEL: 03-3239-1650 /FAX: 03-6380-9905

sales@apstoweb.com

<http://www.apstoweb.com>